

昭和三十年十月十五日印刷
昭和三十年十月十三日
第三種郵便物認可
(毎月二十日発行)

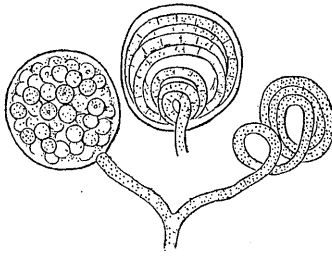
第 30 卷 第 10 号

Vol. 30 No. 10

植物研究雜誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和 30 年 10 月 OCTOBER 1955



津村研究所

Tsumura Laboratory

TOKYO

目 次

黒澤幸子・原寛：ツクバネウツギの変異について (289)
 下村孟・黒川裕子：民間粉末生薬の研究 (4) (299)
 幾瀬マサ：日本産植物の花粉粒総説 (6) (バラ目, 第3部) (303)
 小山鉄夫：東亜産スゲ属の分類学的研究 (2) (309)

雑 録

松山庫三：ウスアカカタバミ (298)——野津良知：我国におけるミズワラビの前葉体の発見 (301)——伊藤洋：ミジンコウキクサの花がさいた (302)——前田正之：新品種キミノハナミョウガ (319)——久内清孝：再び *Pinellia cordata* について (319)——水島うらら：ハリバシゴケ妙義山に産す (320)——藤野正義：巨大な柱瘤を有するイチョウ (320)

正 誤 (318)

Contents

Sachiko KUROSAWA & Hiroshi HARA: Variations in *Abelia spathulata* Sieb. et Zucc., with special reference to its floral gland (289)
 Tutomu SHIMOMURA & Hiroko KUROKAWA: Microscopical anatomy of powdered vegetable drugs in Japan (4) (299)
 Masa IKUSE: General survey list of pollen grains in Japan (6) (Rosales part. 3) (303)
 Tetsuo KOYAMA: Taxonomic study of *Carex* in Eastern Asia (2) (309)

Miscellaneous

Kôzô HIYAMA: *Oxalis corniculata* f. *atropurpurea* Van Houtte (298)——Yoshitomo NOZU: On the discovery of the prothallia of *Ceratopteris thalictroides* Brongn. in Japan (301)——Hiroshi ITO: Flowering of *Wolffia arrhiza* in Tokyo (302)——Masayuki MAEDA: *Alpinia japonica* f. *xanthocarpa*, a new form (319)——Kiyotaka HISAUCHI: Recognize *Pinellia cordata* as an alien (319)——Urara MIZUSHIMA: *Molendoa sendtneriana* from Mt. Myogi, Prov. Kozuke (320)——Masayosi FUJINO: The Ginkgo tree with large 'Masercylinders' (320)

Errata (318)

〔表紙カットの説明〕 ストレプトスポランギウムの2個の孢子嚢とコイル状菌絲端放線状菌は戦後の菌類界の花形であるが、その分類上の位置については細菌説、真正菌類説、中間説等区々である。ところで Couch は水棲菌類を採集すると同じ方法で土壌や水中から数種の放線状菌を見出し、本年発表した。その一は不動孢子嚢をもつもの、他は遊走子嚢のあるもので、前者を *Streptosporangium* 後者を *Actinoplanes* 属とし、両属を以て Actinosporangiaceae を設けた、菌類界最近のヒットニュースであり、今後系統論の主要な資料とならう。因みに我国にての再発見も単に時の問題と思う。(Nagaoa 5号 (1955) に論文紹介あり——小林義雄)

〔Explanation of the cut in the cover〕 Sporangia of *Streptosporangium* (after Dr. Couch)

代 金 払 込

代金切れの方は一ケ年代金 (雑誌 12 回分) 768 円 (但し送料を含む概算) を為替又は振替で東京都目黒区上目黒 8 の 500 津村研究所 (振替東京 1680) 宛御送り下さい。都合で 2 回分割払いでも差支えありません。

投 稿 規 定

1. 論文は簡潔に書くこと。
2. 論文の脚註には著者の勤務先及びその英訳を附記すること。
3. 本論文, 雑録共に著者名にはローマ字綴り, 題名には英訳を付けること。
4. 和文原稿は平かな交り, 植物和名は片かなを用い, 成る可く 400 字詰原稿用紙に横書きのこと。欧文原稿は“一行あきに”タイプライトすること。
5. 和文論文には簡単な欧文摘要を付けること。
6. 原図には必ず倍率を表示し, 図中の記号, 数字には活字を貼込むこと。原図の説明は 2 部作製し 1 部は容易に剝がし得るよう貼布しておくこと。原図は刷上りで頁幅又は横に 10 字分以上のあきが必要である。なお原図の裏に著者名, 論文名を記入のこと。
7. 登載順序, 体裁は編集部にお任せのこと。活字指定も編集部でしますから特に御希望の個所があれば鉛筆で記入のこと。
8. 本論文に限り別刷 50 部を進呈。それ以上は実費を著者で負担のこと。
 - a. 希望別刷部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けません。
 - b. 雑録論文の別刷は 1 頁以上のもので実費著者負担の場合に限り作成します。
 - c. 著者の負担する別刷代金は印刷所から直接請求しますから折返し印刷所へ御送金下さい。着金後別刷を郵送します。
9. 送稿及び編集関係の通信は東京都文京区本富士町東京大学医学部薬学科生薬学教室植物分類生薬資源研究会, 藤田路一宛のこと。

編 集 員

Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Y. ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

藤 田 路 一 (M. FUJITA)	原 寛 (H. HARA)
久 内 清 孝 (K. HISAUCHI)	木 村 陽 二 郎 (Y. KIMURA)
小 林 義 雄 (Y. KOBAYASI)	前 川 文 夫 (F. MAEKAWA)
佐々木 一 郎 (I. SASAKI)	津 山 尙 (T. TUYAMA)

All communications to be addressed to the Editor
Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.
Pharmaceutical Institute, Faculty of Medicine, University of Tokyo,
Hongo, Tokyo, Japan

昭和三十年十月十五日印刷
昭和三十年十月二十日発行
昭和三十年十月二十三日
第三種郵便物認可
(毎月二十日発行)

「植物研究雑誌」第三十卷 第十号

定価六〇円

謹 告

かねて予告しました本誌索引(第11巻～第25巻)は遅れて御迷惑を
かけましたが第30巻臨時増刊(昭和30年4月5日発行)として出版に
なりました。これは上記の15巻分の学名と和名の詳しい索引で、本誌の
整理や利用上に大変役立つと存じます。

植物研究雑誌索引(第11巻～第25巻)

Index of the Journal of Japanese Botany

vol.11 (1935) — 25 (1950)

総頁 375 頁 定価 600 円 送料 20 円

申 込 先 津 村 研 究 所

東京都目黒区上目黒8の500

振替東京 1680

昭和30年10月15日印刷

昭和30年10月20日発行

編輯兼発行者 佐々木一郎

印刷者 小山恵市
東京都新宿区筑土八幡町8

印刷所 千代田出版印刷社
東京都新宿区筑土八幡町8

発行所 植物分類・生薬資源研究会
東京都文京区本富士町
東京大学医学部薬学科生薬学教室

津村研究所
東京都目黒区上目黒8の500
(振替東京1680)

定 価 60 円

不 許 複 製